

WSI通信 Vol. 5

NAGASAKI UNIVERSITY 2018. 8

Work Style Innovation

「長崎大学ワークスタイルイノベーション（WSI／働き方見直しプログラム）」は、ライフイベントおよびワークライフバランスに配慮した職場環境の実現を目指し、それぞれの業務・職場における課題改善にPDCAサイクルで取組むプログラムです。

「WSI通信」では、参加チームの取組の様子や、働き方見直しに役立つ情報・ツールなどをご紹介します（季刊予定）。

キックオフオリエンテーション

平成30年7月4日、大学病院第3講義室にて平成30年度のキックオフオリエンテーションを開催しました。今年度のプログラム実施チーム、「働き方見直しコンサルティング」を行う外部コンサルタントや「働き方見直し推進委員」（認定ワーク・ライフバランスコンサルタントの有資格者）が参加し、各チームは概要説明を受けグループワークを行いました。

伊東昌子ダイバーシティ推進センター長は、挨拶の中で「このプログラムは前向きに取り組んでいきたいと思う大変有意義な事業である。自分たちで考え実行していくうちに変わっていくのが実感できる、エンジョイして欲しい」と語り、これまでのWSIの取り組みを紹介しました。その後、（株）WLBの堀江コンサルタントが「なぜ働き方の見直しが必要なのか」「どのように見直すのか」を各ステップごとに説明し、各チームは「カエル会議」を実施し「働き方の良いところ」「働き方の課題」について活発に意見を出し合い、このプログラムを通じて目指す目標をイメージしました。



平成30年度の参加チームをご紹介します

診療放射線部門（核医学・治療室）チーム

診療放射線部は核医学検査と放射線治療が主な業務で医師、看護師、放射線技師10名で構成されたチームです。集まりやすくゴールイメージしやすい2チームに分かれて進めて行くことになりました。

核医学チームのゴールイメージは「業務マニュアルを整備し、また情報共有を図り、検査の安全性と質を担保する。加えて新人教育の質の向上を図る。それにより、年次休暇を取得しやすい環境を整える」と設定し、今後の取り組みで医療の質の向上に繋がることが期待されます。



治療室チームのゴールイメージは「患者さんへの診療の質を上げたい」と設定し、今後のカエル会議で問題を提起し解決に向けて議論を進めていきます。



医療情報部・看護部 情報システム管理室チーム

医療情報部・看護部 情報システム管理室チームは、教員2名、看護師2名、事務職員9名による構成チームです。医療情報の改定も多く、各々多くの課題を抱えていましたが、チームのゴールイメージを「業務・問い合わせの見える化」と設定し、課題を掘り起こし、目的・効果の業務分析後に優先順位をつけ解決方法を整理していきます。



ダイバーシティ推進センターチーム

昨年度から引き続き、チームとして参加することになりました。メンバーの半分は入れ替わり、新たな視点で業務の効率化を進化させたアクションを起こし「業務の見える化で段取り上手！～仕事サクサク大作戦～」をゴールイメージと設定しました。文書ファイルと電子ファイル項目の連動した整理、集中タイムの取り組み等でゴールを目指します。

